

地域における防災対策

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織をいいます。

大規模な災害のときは、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない場合があります。そんなときに力を発揮するのが、自主防災組織です。隣近所と力を合わせ、防災活動を行いましょう。

1 情報の収集・伝達

公的防災機関と連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達します。また、地域の被害状況や火災の発生状況をとりとめます。



2 救出活動

負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動を行います。ただし、救出作業は危険を伴う場合がありますので、二次災害に十分注意してください。



3 初期消火活動

出火防止のための活動や初期消火活動を行います。ただし、消防署や消防団が到着するまでの間、火災の拡大延焼を防ぐのが基本です。決して無理はしないように。



4 医療救護活動

大災害時には多数の負傷者が出るため、すぐに医師による治療が受けられるとは限りません。その場合は応急手当を行い、救護所へ搬送しましょう。



5 避難誘導

住民を避難所などの安全な場所に誘導します。避難経路は災害の状況により変化しますので、公的防災機関と連絡を取り合うなど、正確な情報に基づき誘導を。



敦賀市出前講座

敦賀市では、防災に関する出前講座を実施しています。

担当職員が講師となり、皆さんのもとへ出向き、地域で、学校で、子ども会・老人会・婦人会等の団体で、皆さんが聞きたい内容のお話をしています。

お気軽にご利用ください。

講座名	内容
防災まちづくり講座	・家庭や地域でできる災害への備えについて ・敦賀市の取り組みについて
避難所運営ゲーム（HUG）	・避難所の運営を模擬体験できるゲーム
原子力防災と放射線 （福井大学原子力工学研究所との連携講座）	・被ばく、防護に関する基礎知識について ・敦賀市の原子力防災対策について

お問合せ 総務課 ☎ 22-8101

敦賀市地域防災マップ作成支援事業

地域防災マップとは、地域（区など）ごとに災害の危険性が高い場所、過去に災害が起こった箇所、避難場所、避難経路などを地図に表したものです。地域住民が、自宅周辺の災害情報や災害時の避難目標、避難のタイミングなどを確認、共有するためのもので、住民主体で作成します。

また、地域防災マップの作成を通じて、自分たちの地域を改めて知ることや地域の中での防災情報を共有、防災の関心を高めること等ができ、地域の防災力の向上につながります。

地域防災マップの作成又は更新を希望する場合は危機管理対策課までお問い合わせください。

●作成過程

（１）全体説明会

各区代表の方を集めて全体説明会を行い、マップ作成のイメージを掴んでいただきます。また、マップを見ながらワークショップで簡単な演習を行い、作成の方法を確認します。

（２）各区でワークショップ

全体説明会で行ったワークショップを各区で行います。各区の地図を使って災害情報や危険箇所、自宅からの避難経路などを考えて地図に記入していきます。

（３）各区でまち歩き

書き込んだマップを持って実際に歩いて確認し、気付いたことを更に書き込んだり、避難するタイミングを考えたりします。

（４）マップに記載する内容の最終確認

これまで話し合った内容を確認し、配布用に仕上げます。



●各地域（区など）の地域防災マップ

各地域（区など）が作成した地域防災マップを敦賀市のホームページで公開しています。なお、公開に同意していただいた地区のみ掲載しています。

敦賀市 地域防災マップ [検索](#)

災害ボランティア活動

大規模災害が発生すると全国から災害ボランティアが被災地に集まり、復興のための大きな助けとなっています。敦賀市社会福祉協議会では、平時から災害ボランティアの登録を受け付けています。災害ボランティアに関心のある方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 敦賀市社会福祉協議会 ☎ 22-3133